

中和ボランティアだより

発行 中和地区社協

令和5年2月28日

今回は中和地区で開催されている高齢者の集いの場「まほろばサロン」を紹介します

まほろばの名前の由来は？

この会の代表者の金山弘代さんは「まほろばという名前は古事記の有名な歌からとりました。「まほろば」は「素晴らしい場所」や「住みやすい場所」という意味で、わたしは中和がまさにそんな場所だと感じています」と話されます。

現在会のメンバーは12名。毎週木曜日の午後、デイサービスセンター「すずのこハウス」に集まり脳トレや体操をして体を動かしたり、歌を歌ったりして和気あいあいとした雰囲気の中で充実した時間を過ごしています。

佳（やまじ）は國の
まほろば
たなをすく青垣
山こもれる佳しうるわし



みんなと過ごすこのひと時がとても楽しくて
みなさん毎週木曜日に来るのを
楽しみにされているとのことですよ！



みんなで楽しく歌います

「まほろば」では会の始まりにいつも「花は咲く」をみんなで合唱します。東日本大震災のことを忘れないためと、こうして平穏な日々を過ごしていただけることに感謝を込めて。

みなさんで **脳トレ** に挑戦中！
そしてそのあとは会員おすすめの一曲です。毎回一人が簡単なエピソードを添えて自分のお気に入りの曲を発表し、それをみんなで歌います。この日は「星影のワルツ」でした。
シルバー世代の心に残る名曲ですね。

集中力と
思考力を
高めます！

サロンを通じてみなさんに恩返しを

「私は学校卒業以来ずっと中和を離れていて、退職を機に中和に帰ってきました。ここに集まっている人たちは長年にわたってずっと中和を守って来てくれた方々です。そんな人たちに少しでも恩返しをしたいという気持ちでこのサロンをはじめました」と金山さんはこの会に込める思いを語ります。



看護師でもある金山さんは高齢者の社会参加をうながすことが、認知症やフレイル(加齢によって心身が老い衰え、社会とのつながりが減少すること)の予防につながることを強く感じておられます。一人でも多くの方がこの地域で元気で過ごされることを願って今後もこのサロンを続けていきたいとのことですよ。

サロンの終わりにには
ラジオ体操で
しっかり体を動かします



裏面もあるよ



「ハニー」 雑誌「ボランティア」

ボランティアとは、何回のことかわからなり大工の熊さん。

毎度、一番の物知りのボランティアの格入者の意味を聞きに来たのですが...

「じゃあ、熊さん。」

「おや、誰かと思えば熊さんじゃあな。まあ、お前さん。」

「うちの娘が最近ボランティアマ、ボランティアマ。」

「ボランティアマ、ボランティアマ、ボランティアマ。」

「ボランティアマ、ボランティアマ、ボランティアマ。」

「ボランティアマ、ボランティアマ。」

「...はい、ボランティアマ。知ってるかな、また失礼な物。」

「ボランティアマ。」

「じゃあ失礼しました。まあ、1本目のボランティア。」

「はい。はい、ボランティア。」

「まあ、あなたも入りのボランティア。」

「はい。ボランティア。」

「まあ、あなたもボランティア。」

「はい。ボランティア。」

「...まあ、ボランティア。」

「気持ちがいいですね。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

知ったかぶりをして困ってしまっただ熊さん。まひってしまひ

思わず天井を叩くほどおどろかされたのが、熊さんの提灯(ちようちん)。

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」

「ボランティア。」



みなさんも
ボランティアを
始めて
みませんか？

